

7.建設汚泥の再生利用形態別_有効利用事例（連続地中壁工事・地盤改良工事）

対象原泥	発生種別	連続地中壁	地盤改良工（改良工）	基礎杭工事排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	80～150%			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5～15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路床(路床)	植生土壤
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	残土利用
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	T A S T工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	12kg/m ³			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	有機質対応型
	同上使用量 (kg)	125kg			
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	120m ³	日最大施工量	200m ³	
	総量 (m ³)	20,000m ³	処理機構成	40m ³ 機×1台	

【概要説明】

連続地中壁工事から排出された排泥をデカンタにより脱水処理し、その残差物を粒状固化した。

排出泥土の全量が「自ら利用」にて場内盛土の主材料として利用された。

また、同時に行われていた地盤改良工事、シールド工事の排泥も併せて処理し、有効利用された。



排泥-貯泥調泥処理状況



40m³/h ユニット型処理プラント全景



処理後状態